

事務事業評価シート(平成27年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名	
31524	浄化槽維持管理事務	建設水道課	農集・浄化槽係	小野 耕一	山田 隆	
		一次評価年月日	平成 28 年 6 月 30 日	連絡先〔内線〕	2166	
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別			0408	環境衛生施設事業	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別				#N/A	
	第五次総合計画前期基本計画の 施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	3章	安心・安全で快適な地域を形成するまちづくり	
		節	(コード選択)	1節	地域基盤整備	
		項〔基本施策〕	(コード選択)	5項	下水道事業の推進	
目〔主な施策〕		(コード選択)	2目	安定した下水処理の推進		
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他		
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input checked="" type="checkbox"/>	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/>	終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。
下水道事業及び農業集落排水事業の区域外に住む住民。
②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。
水洗化の促進により、快適で衛生的な生活の推進と環境浄化を進めるとともに、適正な維持管理を実施してもらい、地域住民の文化的な暮らしと清らかな水の流れを守る。
③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。
1 環境省の「循環型社会形成推進交付金」等により、浄化槽の整備促進を図る。
2 浄化槽の適正な維持管理のための視察研修会の開催(町浄化槽維持管理組合の自主事業)。
3 浄化槽の放流水の水質検査実施の確認及び啓発(法定検査)。
4 その他ポスター・リーフレット・広報誌などを利用した情報提供。

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		26年度	27年度	27年度 (見込み)	達成率	27年度 (見込み)	年度 (見込み)	
①	指標名	浄化槽設置基数		2	2	3	0.67	3
	説明	単年度の設置基数		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 補助金交付申請数。補助対象外については設計概要書数または設置届出書数。				
②	指標名	法流水の水質検査の実施基数		273	272	270	1.01	270
	説明	浄化槽法第11条検査の実施基数		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 法定検査結果報告書件数				

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		26年度	27年度	27年度 (見込み)	達成率	27年度 (見込み)	年度 (見込み)	
①	指標名	浄化槽設置による水洗化率の向上		75	75	90	0.83	90
	説明	公共下水・農集区域外の水水洗化率		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 (飯沼・藤沢・中之橋・向袋・上野・鴻ノ田・源上の浄化槽設置済み人口) ÷ 区域内人口 × 100				
②	指標名	浄化槽法第11条法定検査受験率		88	87	95	0.92	95
	説明	(公益社団法人)長野県浄化槽協会による検査		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 受験基数 ÷ 浄化槽設置基数 × 100				

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

		※事業費の算定方法		<input checked="" type="checkbox"/>	決算書・予算書等に記載の数字	<input type="checkbox"/>	按分計算による算定		
							平成25年度 決算	平成26年度 決算	平成27年度 決算
○総事業費(コスト概算) =①+②					(千円)		2,850	2,714	2,389
対前年比					%		95.2	88	
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)							2,850	2,714	2,389
B) 一般財源(税金)							0	0	0
①事業費					(千円)		880	746	414
対前年比					%		84.8	55.5	
②人件費の概算							1,970	1,968	1,975
対前年比					%		99.9	100.3	
							年間人件費	年間人件費	年間人件費
							1,970	1,968	1,975
町職員(正規職員)									
非常勤等職員(臨時職員)							0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果		
妥当性	1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある C 減少傾向にある	B 変化していない D かなり減少している	住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください []
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか	B	A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる		B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 必要性がない
	3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある		Bの場合、その具体的な内容をお書きください []
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある		Bの場合、その具体的な内容をお書きください []
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない		C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください 公共・特環下水道事業、農集排事業。観光部局の(浄化槽区域の)空き家の補助制度案内。
効率性	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない		A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください []
	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり		C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください []
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり		C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください []
その他	9. 民間企業・住民団体との協働の可能性はありますか	A	A すでに実施している B 可能 C 困難 D 検討中		A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 町浄化槽維持管理組合での事業にて、組合員の代表である役員・代議員を中心に視察研修等を実施し、今年度は資源循環についても知識・情報の普及を図っている。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度) []

事業の方向性の具体化

改革改善案(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等を記入します。)	28年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
設置整備要望は横ばいですが一定の需要はあります。引き続き窓口・広報誌等や、町維持管理組合役員・代議員を通じ補助制度の周知を図る。日頃の管理については更なる処理水質向上に向けて、法定検査機関、保守・清掃業者との連携を図り、適正な使用・管理の啓発を図る。	[反映内容] これまでの実績・補助配分を吟味し、新規計画を作成。6~7人槽2基を計上。

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
下水道・農集排事業区域外の水洗化に必要な事業。広報活動を工夫しながら継続実施。	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input checked="" type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

上記〈今後の展開方針〉 a~e を選択